

総合的な学習の時間の実践

苦前町

総合的な学習
5年

身近なところから考えよう

エネルギーと わたしたちのくらし

単元の概要
と
単元構成

資源の枯渇問題や環境問題についてのテーマの一つに、暮らしとエネルギーがあります。苦前町は、風力発電で有名で、日本海側の海岸線に沿って立ち並ぶ風車は実に美しいものです。しかし、一方では、この風車の乱立により、ここを通過する多くの渡り鳥たちが、この風車の羽に巻き込まれています。そこで、地域にある風力発電施設を題材に、エネルギーと環境問題を子どもたちに考えさせ、鳥たちとも共存できる未来に向けて行動を起こそうと思いました。

学習活動の流れ（22時間）

4年生で風力発電の学習をしたね（1）

- ・まだまだ他にも知らないことがありそうだよ
- ・風力発電のことをもっと知りたいな

『風力発電』の紹介パンフレットを作ろう！（5）

- ・どんな仕組みになっているのかな
- ・風力発電は、どんなところにあるのかな

報告会・調べたことを交流しよう（2）

- ・土地と風があれば電気ができるんだ
- ・空気も汚さないし、風力発電ってすごい！！

意識の変化

- ・バードストライクの事実…

風力発電は素晴らしい？問題点はないのかな（4）

- ・いろいろな問題点が見えてきたぞ

報告会～パンフレットの見直し（6）

- ・プラス面とマイナス面があるんだね
- ・パンフレットの内容を、もう一度見直してみよう

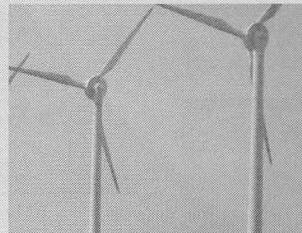
わたしたちの未来のために行動をおこそう！（4）

- ・学習を通して考えたことを形にしよう「○○宣言」

自分たちのもつ情報を人に伝え
るという目的を明確にすること
で、活動への意
欲をもたせまし
た。

意識を転換させる
ポイントを設けま
した。価値の葛藤
を引き起こすこと
で思考をより広
げ、深めるよう
しました。

私たちの身の回りには様々な電化製品があふれています。子どもたちは、電気のある生活が当たり前で、暮らしとの関わりを考える機会は、ほとんどありません。地域にある風力発電施設から、エネルギーについての興味・関心を引き出していました。



風力発電が並びます

教材・活動の Point!

1. 思考の逆転には、インパクトを！

提示した写真には真っ白に浮かび上がる風力発電の姿が。風力発電で鳥が死んでいる…？「風力発電ってすごい！」「風力発電は、わたしたちの町の自慢だ！」と思っていた子どもにとって、この事実は衝撃的でした。そのあと物事には、プラスとマイナスの両面があるということを考えていったのです。効果的な資料の使い方とインパクトのある提示の仕方の工夫を意識して、提示を行いました。

2. 課題意識の高まりから、主体的な活動に

子どもたちはバードストライクの事実をきっかけに、それまでの自分たちの考えは本当に正しかいのかな…という疑問をもちました。でも風力発電は町の自慢です。他にも問題点があるかもしれない、でもそれは……と、心が揺れた子どもたちは、新たな課題を見出し、自分から進んで活動する姿が見られました。

